



イントラネットを利用した自己PR

塚越 貴子

I. はじめに

図書館員が何をしているかわからない。図書室を語る上でよく聞かれる言葉である。では図書館員は医師や看護師、コメディカル、事務職員が何をしているのか理解しているのだろうか。お互いを知るにはコミュニケーションが大事であることは周知の事実である。図書室でただ一方的に情報を流しているだけでは理解はありえないのではないだろうか。目的や意図、プランの見えない図書室に利用者は不信感を抱くのではないか。こういった疑問から、全職員に向けて、普段知りえない図書館員の背景や業務などの情報をイントラネットで公開し、利用者との情報交換に役立たせることができた。今回「イントラによる自己PR」というタイトルをいただき、イントラネットの経緯とホームページ作成と目的、コンテンツの紹介、図書室ホームページの運用について当室の事例を述べてみたいと思う。

II. イントラネットの経緯

前橋赤十字病院では1999年11月からイントラネットを構築し、情報発信、共有化を目指してきた。図書室では新着図書や「図書室だより」を病院週報に掲載してもらい、Webでの閲覧を可能にしていたが、院内でイントラネットが閲覧できる場所が限られていたため、イントラネット自体の認識度は低かった。その後2000年10月のオーダーリング化に伴い、院内各部署に

端末が配置された。遅れること4ヶ月、図書室は2001年2月からイントラネットによるホームページを開設した。当初は発足したばかりの病院図書室と専任司書の紹介、月に1回発行する「図書室だより」をパソコン上で閲覧できることを目的とした開設だった。

III. ホームページの作成と目的

ホームページを作成する前に、図書室でホームページを作る目的を考え、利用者に見てもらいたいコンテンツを決定した。ホームページを開設した結果、どんな効果が得られるのか。目的と利用者イメージを明確化し、作成者側と利用者側の両側から見てみる必要がある。

ホームページ作成にはマイクロソフト社の「ホームページビルダー」を使用し、「図書室だより」はWordで作成したものをAdobe Acrobat 5.0を使用し、Adobe PDF (Portable Document Format) ファイルに変換している。

画面はその後の更新作業手順を第一に考慮し、画像やアニメーションにはこだわらなかった。シンプルでコンテンツを重視した「使いやすい」「見やすい」ページ構成を心がけた。しかし利用者からは「見やすくてよい」という意見と「そっけない」という意見があり、今後検討する課題ではある。コンテンツはあれこれと広げて更新が滞ってしまうことのないように、図書館・情報センターの基本的なコンテンツ¹⁾を参考に、運営に無理のない範囲で厳選した。

IV. コンテンツの紹介

前橋赤十字病院図書室のコンテンツを紹介す

つかごし たかこ：前橋赤十字病院 図書室
mrc-jrc@jcom.home.ne.jp

る。図書室利用案内やニュースの他に、利用者からの問い合わせや院内活動からヒントを得たコンテンツもある。ホームページを更新した場合は、前橋赤十字病院のイントラネットフロントページの新着情報に掲載してもらっている。

1. お知らせ

新着情報や気になる記事、不明資料の検索や司書不在時を掲載している。

2. 図書室利用案内

Power Point で作成した「図書室利用案内」を掲載している (図1)。目次をクリックするだけで見たいページにジャンプするように設定してある。図書室サービスの概要と利用する際の一通りの案内を見ることができる。

3. 図書室ニュース

「図書室だより」「新刊案内」「寄贈図書」「雑誌特集記事」などの項目に分けた。図書室の今や今後の予定など図書室事情を報告し、開かれた図書室をアピールしている。

4. スライド作成お助けガイド

何かと問い合わせの多いパソコン周辺機器、フィルムレコーダーやスキャナのマニュアルを掲載している。一連の作業を写真や画像入りで説明している。最後にフィルムの提出先やスライドのできあがり日数なども掲載した。今後はPower Point のマニュアルや液晶プロジェクターの簡易操作法も掲載する予定である。

5. インターネットで検索してみよう

インターネットでどんなことができるのか、情報を収集するにはどうしたらよいか、簡単な操作方法と有用な Web ページの紹介、医学中央雑誌 Web 版の操作マニュアルも掲載している。

6. こんな研修会に行ってます

研修会に参加した際に病院に提出した出張報告書の内容をそのまま全文掲載している。ある利用者から「図書館員の研修会はどんなことを行っているのか」「出張報告書を見せてほしい」といった問い合わせを受けたことから、公開に至った。

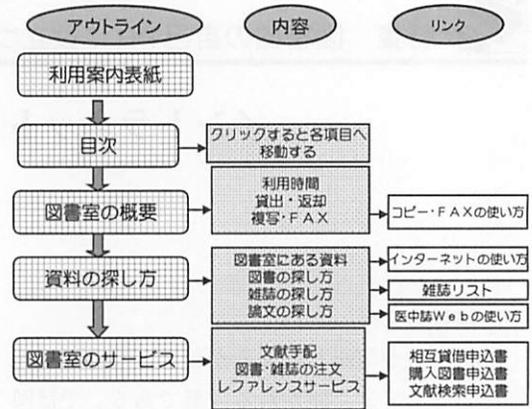


図1. 図書室利用案内のリンク図²⁾

7. 図書館員の映画生活

鑑賞した映画の紹介をしているティープレイクコーナー。このコンテンツは「院内報で図書室コーナーを掲載してはどうか」という意見がヒントになっている。図書室の連載というとな新刊図書の案内や本の紹介を想像するが、インパクトに欠けるため、図書室のページとしては例のない映画の紹介をすることにした。その内容も医学分野にとらわれない心とむ作品を中心に紹介している。原作のある映画の場合は、原作の詳細な紹介や映画との比較をしている。院内報は500~600文字と文字数が限られているため、イントラネット版には見所やこぼれ話などをいれ、充実した内容に仕上げている。まだ始めたばかりの試みであるが、院内報やホームページを見た職員からは、次はどんな映画を紹介するのかといった問い合わせや、映画を通じて話しかけられることもある。その他、「図書館員の読書生活」ではジャンルを問わない本の紹介、「図書館員覚え書」では少ないながらも、雑誌や院内報に掲載された原稿に加筆をして掲載している。

8. 図書室の仕事紹介

司書資格の説明や、図書室業務の中で理解されにくいサービス業務を中心に紹介をしている。Power Point で作成した「図書室業務マニュアル」を一部公開している。図書室案内と

直接的に関係のない研修や業務マニュアルまたは趣味(!)のページがきっかけで図書室に興味を持ち、それが来室のきっかけになるかもしれない。そんな些細なことから、図書室の本業である「利用者サービス」や「医療情報を提供する場所」という理解と認識に繋がるのではないだろうか。

V. 今後の改良点

利用者からの各種依頼は、現在のところ図書室のメールアドレスで受け付けている。今後は図書業務用ソフトを利用した蔵書検索やホームページ上の画面からダイレクトに申し込みができるよう計画中である。また図書室からの一方的な情報伝達ばかりでなく、掲示板の開設も考え、利用者参加型のページを目指したい。

VI. ホームページの運用と反応

感動した映画や図書を記し、研修会での報告書を公開し、業務に必要な資料一式をリンクして保存する。作成した資料をどこに保存したか忘れ、利用者すぐにマニュアルをわたせないといった失敗から、ホームページを自身の覚書ノートとして運用しようと思いついた。自分の業務に必要な道具をイントラネットに収納したといってもいい。掲載している資料は新しく作り直したものではなく、従来の資料をコピーや加工、別資料と組み合わせ利用しているので作業時間はかかっていない。また各種マニュアルを公開したところ、利用者からリンクをはるにはどうしたらいいのか、検索するには実際にどうしたらよいかといった具体的な問い合わせがあり、多少なりとも反応はあった。

ホームページ運営についての注意点は規則的な更新があげられる。ホームページを開設し継続している限り更新を続けなければならないことを忘れがちである。ホームページを実際に運営してみて、定期的な更新を維持することは、

ホームページを開設する以上に難しいことなのだと改めて思った次第である。当室でも繁忙期には更新が滞ってしまう現実がある。対処法としては必ず定期的に更新する内容と作業時間を決定しておくとい³⁾。定期的に更新されないページにリピーターはつかないものだ。更新は定期的に行うよう努力したい。

VII. 図書室の自己PRとは

図書室はありとあらゆる職種の人が利用する場所であり、多くの人々と接する機会に恵まれている。イントラネットでの情報公開や来室者とのコミュニケーションを通じて、院内モーニングカンファレンスの講師依頼や院内報の連載など活動の場が広がった。今回紹介したイントラネットに限らず、図書館員の活動の場は図書室だけではない。一見面倒だと思っても、チャンスと考え、可能な限り引き受けることもPR活動であると思っている。作成しても見ないかもしれない、無駄かもしれないと思う前に、紙・電子媒体を使い図書室の情報を開示してみようだろうか。

図書室独自の創意工夫したホームページを運営できるのは小規模図書室の特権であると思う。図書室の個性が、図書館員の個性でもあるのだ。図書室が情報を出化し、利用者の声を聞き、図書館員が自分を表現できることが図書室発展の鍵になるのではないだろうか。

参考資料

- 1) 情報科学技術協会編. 実践! 図書館・情報部門のホームページ作成. 東京: 社団法人情報科学技術協会; 2001.
- 2) 塚越貴子: Power Point を使った利用案内. 日赤図書館雑誌. 2002; 9(1): 36-8.
- 3) 瀬戸嘉枝: ホームページ開設とその後の活動—情報公開とPR活動の現状と今後について. 病院図書館. 2001; 21(1): 2-5.